



なかっ子だより

中新田小学校
学校だより
令和3年1月16日

学校ホームページ

<http://www.nakashindensyo.edu.city.ebina.kanagawa.jp/>

「本当に大切なもの」

今月の7日に緊急事態宣言が発令されても、新型コロナウイルス感染症の勢いが拡大しています。現在、本校の児童は通常どおりの登校を行っていますが、今後の感染症の状況によっては、子どもたちの学校生活の継続も不透明な部分が多いのが現状です。

学校とは、子どもたちが集団で集まり、一緒に学びながら学力とともに社会性を獲得していく場所です。子どもたちは、教室や校庭で多くの仲間と一緒に学び、顔を寄せて楽しくおしゃべりをしたり、大声で笑い合ったりして一日を過ごしていました。そんな当たり前の毎日の積み重ねの中で仲間との信頼関係が育まれ、子どもたちはお互いに成長していきました。密集（学ぶ仲間）、密閉（学ぶ場所）、密接（学び方）な関係も、本来、子どもたちの学校生活を支える上で必要不可欠のものでした。それが今、子どもたちの学校生活は一変し、新しい生活習慣の中で、我々教職員も子どもたちともに、これからの新しい学校生活の形を模索しています。

「子どもたちの学校生活で不要不急とは何であるか」「子どもたちの安全安心を最優先に考えながらも、何が不要不急であるか」と言う問いへの答えはとても難しいです。先日ある新聞記事が目にとまりました。『人は最低限の必要なものだけで生きている訳ではない。「不要不急」の拡大が人から本当に必要な物を奪いかねない。信頼できる人間関係、安心できる場所、地域の生活空間……。『「必要なもの」と「不要なもの」との間には、実は「大切なもの」がある。そして、「必要」も「不要不急」もこの「大切なもの」によって支えられ、またそれを支えるべきものなのである。』

（「異論のススメ」佐伯啓思 京都大学名誉教授）

子どもたちの学校生活の中でいくつか思い浮かぶことがあります。

マスクでお互いに表情が伝わりづらい中での目と目を合わせての丁寧な朝の挨拶。長い休校期間の後、待ちわびたように校庭で元気に走り回るたくさんの子どもの姿。学校行事や児童会活動が縮小される中で、6年生が1年生を喜ばすために企画してくれた交流活動。体育館で一緒に遊んでいる時の1年生の嬉しそうな顔や6年生のちょっと誇らし気な顔。そして、今年度5年生の「米づくり」の体験活動が十分に出来なかったために、地域協力者で稲作指導者の山田さんが子どもたちに届けてくださった美味しい餅米。

たくさんの制約がある中ではじめて見えてきた「大切なもの」、たくさんの制約がある中でも残していかなくてはならない「大切なもの」、たくさんの制約がある中でこそ忘れてはいけない「大切なもの」、それら「本当に大切なもの」を先生方と子どもたちと一緒に見つけていきます。

**お知らせ
です**

神奈川県教育委員会では、令和3年1月24日（日）に、コロナ禍において児童が楽しみながら学び続けることについて、教員・指導主事、保護者、学識経験者に児童・生徒も加わってシンポジウムを開催します。オンライン手法（zoom）を活用しての開催になります。関心のある方は、「かながわ学力向上シンポジウム」で検索し、参加方法等をご確認ください。

【5年生】

先日、中新田小学校の田んぼでできたお米を地域の方からいただきました。新型コロナウイルス感染症対策の為、お米作りを行うことはできませんでしたが、いただいたお米を袋に詰めて全校児童に配りました。「一粒一粒をこぼさないように入れよう」と言いながら、感謝の気持ちを込めて活動する5年生の姿が見られました。そして、改めて地域の方に支えられていることを実感しました。

さて、あと3ヶ月で中新田小学校の最上級生になります。今までの学校生活で培ってきたことを生かしながら、明るく心優しい6年生、たくましく粘り強い6年生、下級生から憧れられる6年生になってくれることを期待しています。



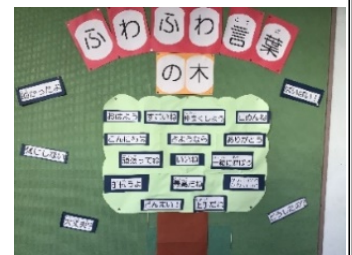
【いずみ】 ～いずみ教室はどんな所？～

海老名市内には、通級教室が「そだちの教室」2校、「ことばの教室」2校と全部で4校あります。通級教室とは、主に「友だちと上手に関わりたい」、「自分の思いや考えを上手に表現したい」などの願いをもった子どもたちが一人ひとりに合わせて学習をするところです。

「いずみ教室」は「そだちの教室」として、平成15年に開設されました。

主として、SST（ソーシャルスキルトレーニング）を中心にゲームやグループ活動を通して、集団でのルール・社会のマナー・コミュニケーションスキルを育てる指導を行っています。また、個別指導では、読み書き・計算・言語コミュニケーションなど、一人ひとりに寄り添った指導を行っています。

右の写真は、『ふわふわ言葉の木』です。友だちと一緒に様々な活動をしていく時に、どのような言葉を使えばいいのかを考えました。普段の学校生活で優しい言葉を使っていくことで、友だちとよりよい関係を築いてほしいと思っています。



【体づくり部】

新型コロナウイルス感染症対策の為、長期間の自粛生活をしていることにより、子どもたちの運動量の低下が心配されています。中新田小学校では、子どもたちの体力向上のため、感染症対策に気を付けながら、体育の時間に「持久走」「縄跳び」をしています。休み時間にも縄跳びや鬼ごっこなど中新田小学校の広い校庭で元気に遊ぶ子どもたちの姿が見られます。

さて、お家での子どもたちの様子はどうでしょうか？不要不急の外出ができない中、お家で過ごす時間が増えていると思います。お家でゲームばかりしていませんか？テレビばかり見ていませんか？お家でできる運動に取り組み、健康保持につとめてほしいと思います。



★くっつけダッシュ★

新聞紙やスーパーの袋などを体につけて、落とさないように走ります



★足プルプル持ち★

ボールや座布団などを足で持ち上げます。目指せ1分！！

